



No. 134  2021.8.1 発行

 南みのわ

6月定例議会

議会だより

南みのわの魅力発信！

— 新地域おこし協力隊 —



大泉川親水公園(大芝高原)

一般質問 動画配信中

QRコードから各議員の
一般質問動画を観られます。



インターネット村ホームページ▶
村議会▶本会議録画中継▶定例会

主な内容

- 新しい議会構成決まる P 2
- 議長就任・退任あいさつ、臨時会 P 3
- 定例会、一般質問のその後 P 4～P 5
- 一般質問 P 6～P 14
- 議会だよりモニターの声 P 15
- きらきら村の仲間たち P 16

新しい議会構成決まる

議長に百瀬輝和議員、副議長に山崎文直議員

5月13、14日に行われた令和3年第2回臨時会において、申し合わせ任期に伴う正副議長選挙と任期満了に伴う委員会構成替えが行われ、新たな議会構成が決まりました。

(※任期：令和3年5月13日～令和5年4月26日)

また、議会選出監査委員に丸山豊議員が新たに選任されました。

議 長	百瀬 輝和
副議長	山崎 文直

総務経済常任委員会(5人)	
委 員 長	唐澤 由江
副委員長	原 源次
委 員	登内 瑞貴 加藤 泰久 百瀬 輝和
(所管) ・総務課 ・会計室 ・地域づくり推進課 ・財務課 ・産業課 ・建設水道課	

福祉教育常任委員会(5人)	
委 員 長	三澤 澄子
副委員長	笹沼 美保
委 員	丸山 豊 山崎 文直 都志今朝一
(所管) ・住民環境課 ・健康福祉課 ・子育て支援課 ・教育委員会	

議会運営委員会(4人)	
委 員 長	笹沼 美保
副委員長	原 源次
委 員	唐澤 由江 三澤 澄子



委員長会議(6人)	
座 長	副議長
代 理	議会運営委員長
委 員	・総務経済常任委員長 ・福祉教育常任委員長 ・議会だより編集委員長 ・情報委員長

○議会選出監査委員
丸山 豊

議会だより編集委員会(5人)	
委 員 長	原 源次
副委員長	笹沼 美保
委 員	山崎 文直 唐澤 由江 三澤 澄子

情報委員会(4人)	
委 員 長	登内 瑞貴
副委員長	都志今朝一
委 員	加藤 泰久 丸山 豊

○上伊那広域連合議会議員
百瀬 輝和、山崎 文直
○伊那中央行政組合議会議員
百瀬 輝和、山崎 文直
○長野県上伊那広域水道用水
企業団議会議員
百瀬 輝和

議長就任退任あいさつ・臨時会

就 任
百瀬 輝和



5月13日第2回の臨時会において、新しく議長に就任いたしました。責任の重さに身の引き締まる思いでございます。議長として公共の福祉のため、中立で公平公正な議会運営に努めて参ります。

村民の代表としての議会は、H19年より定数が10人となり、さらに議会改革に取り組んでいます。議会では昨年から続くコロナ禍の中、オンライン会議の取り組みを行いました。村民のために何を行うか、常に考える議会になっていかなくはなりませんし、デジタル化についても、今後さらに進めていく必要があります。村民に見える議会、村民のための議会を一步一步進めてまいります。

今後とも議会へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

議長 就任・退任あいさつ

退 任
丸山 豊



5月13日に開催された村議会臨時会におきまして、4年間務めました議長を退任いたしました。

この間、村が県下一若い村として人口増を続ける中で、議員定数の検討を始めとする議会改革などに取り組んでまいりました。また、収束の見えない新型コロナウイルス感染症には、村と二人三脚で引き続き拡大防止につとめる必要があります。

議長在任中は多くのみなさまに大変お世話になり、厚く感謝申し上げます。



令和3年第2回臨時会（5月13日～5月14日）

件 名（議案名はわかりやく簡略表記しています）		賛 成	反 対	議決結果
※ 専決処分事項の承認	税条例等の一部改正	9	0	可決
専決処分事項の承認	令和3年度一般会計補正予算（第1号）	9	0	可決
令和3年度補正予算関係（別表1）	一般会計補正予算（第2号）	9	0	可決
	水道事業会計補正予算（第1号）	9	0	可決
	下水道事業会計補正予算（第1号）	9	0	可決
そ の 他	監査委員の選任につき同意を求めることについて …… 丸山豊氏の選任	8	0	同意

令和3年度補正予算（千の位以下切り捨て表記）

別表1

会 計 別		補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計（第2号）		1億7546万円	64億1546万円
水 道 事 業 会 計（第1号）	収益的収入	増減なし	2億8434万円
	収益的支出	3万円	2億6947万円
	資本的収入	250万円	1568万円
	資本的支出	5580万円	8517万円
下 水 道 事 業 会 計（第1号）	資本的収入	950万円	2億9957万円
	資本的支出	2935万円	4億8414万円

選任される

ました。
不採択2件となりました。



令和3年度補正予算（千の位以下切り捨て表記）

別表2

会 計 別		補 正 額	補正後の総額
一	般 会 計（第3号）	9454万円	65億1001万円
一	般 会 計（第4号）	748万円	65億1749万円
水道事業会計（第2号）	収益的収入	増減なし	2億8434万円
	収益的支出	49万円	2億6996万円
下水道事業会計（第2号）	収益的収入	増減なし	5億9955万円
	収益的支出	6万円	5億9961万円

一般質問のその後

定例会で「検討」および「実施する」と答弁した項目の処理
状況報告

	質問者・内容	答 弁 内 容	その後の対応
R2年12月定例会	■笹沼 美保 母子・父子家庭高等学校生徒通学費補助金制度は、要綱制定からかなりの年数が経っており見直しが必要。検討状況は。	補助対象の所得制限や補助金額についてももう少し検討が必要。	【子育て支援課関係】 令和3年4月1日から新要綱を施行。児童扶養手当受給者で通学費を負担している保護者に対し、定期券等購入額の3分の1（上限額年6万円）を給付する。広報4月号に掲載し、周知を行っている。
R3年3月定例会	■笹沼 美保 健康福祉課に手話ができる人材の配置を。役場職員の中で手話奉仕員の養成が必要では。	手話ができる職員の配置は必要であり、「手話を学びたい」と意欲を持った職員もいる。その職員をどう育てていくか、早急に考えたい。	【健康福祉課関係】 伊那市社協主催、手話奉仕員養成講座（入門編）を健康福祉課職員4名が受講する。（来年度は基礎編を受講予定）。 県に遠隔手話通訳システムがあり、緊急時だけではなく平時も利用できることが確認できた。村地域生活支援事業実施要綱の意思疎通支援事業の目的部分に「タブレット端末を用いた遠隔手話サービスを行う。」旨の記載を追加した。
	■笹沼 美保 土曜日の放課後児童クラブは、支援員1人で複数の児童を見守っている。安全面を考えると最低2人の支援員配置が必要では。	子どもの安全面を考え、必要に応じて複数人の支援員配置ができるように対応したい。	【子育て支援課関係】 令和3年3月（議会後）から2人体制とした。

要だが、承認は必要ない。
分で、議会への報告は必
定（委任）している専決処
らかじめ議決によって指
は、軽微な内容かつ、あ
定（委任）している専決処
分で、議会への報告は必
要だが、承認は必要ない。

「専決処分」って？
（3ページの注釈）



議決のことば

副村長 新たに

6月定例会は5月31日から6月11日までの日程で開かれ
10議案はすべて原案のとおり可決。陳情が2件提出され、

	件 名（議案名はわかりやすく簡略表記しています）	賛 成	反 対	議決結果
条 例 関 係	税条例の一部改正 …………… 地方税改正に伴うもの	9	0	可決
	固定資産評価審査委員会条例の一部改正 …………… 行政手続きにおける押印等を廃止するもの	9	0	可決
	村公共下水道条例の一部改正 …… 消費税を加えた表示に変更するもの	9	0	可決
	村営水道条例の一部改正 …………… 消費税を加えた表示に変更するもの	9	0	可決
	福祉医療費給付金条例の一部改正 …………… 県の補助金交付要綱の改正に伴うもの	9	0	可決
令和3年度補正予算関係 (別表2)	一般会計補正予算（第3号）	9	0	可決
	一般会計補正予算（第4号）	9	0	可決
	水道事業会計補正予算（第2号）	9	0	可決
	下水道事業会計補正予算（第2号）	9	0	可決
その他	副村長の選任につき同意を求めることについて… 田中俊彦氏の選任	9	0	同意
陳 情	消費税率5%への引き下げを求める陳情 …………… 総務経済委員会の審査結果は不採択 ●陳情に賛成：三澤 コロナ禍の中で、世界各国は付加価値税を下げ経済を支えている。今やるべきは感染防止と緊急経済対策で消費税を5%へ引き下げを。 ●陳情に反対：丸山 2019年10月に増税したばかりで混乱要因。コロナ禍で経済対策を実施中であり、5%引き下げに代わる財源約13兆円を国債依存か。	採択2 山崎 三澤	不採択7	不採択
	消費税の適格請求書(インボイス)保存方式導入中止を求める陳情 …………… 総務経済委員会の審査結果は不採択 ●陳情に賛成：三澤 コロナ危機で景気回復が見通せない中、時短、自粛で地域経済が疲弊するもとでインボイス制度の導入は、さらに経営危機が深まる。 ●陳情に賛成：加藤 免税事業者には優遇税制なので、インボイス制度導入中止に賛成。 ●陳情に反対：丸山 事務作業が増え免税業者が取引から淘汰される懸念があるが、納税意識、正確に把握し取引の透明性、不正を防ぐ公平性の確保を優先。	採択3 山崎 加藤 三澤	不採択6	不採択



定例会最終日の動画をこちらからご覧いただけます。

高齢者ワクチン接種の見通しは

中病の支援で7月末までに完了できる（村長）



三澤 澄子



ここで決めるか。PCR検査の状況は。休業時の学習支援と心のケアも含めていていねいな支援を。

時の職員派遣等、県の事業で支援する。

子ども福祉医療費完全窓口無料化を

中病の支援で7月末までに完了できる（村長）

問 コロナ終息に向けて65歳以上のワクチン接種完了の見通しは。副反応の状況、予約方法の改善は。全世代接種への見通しは。

村長 6月8日時点で、1回目終了は1430人、39・6%。5医療機関で行っている。伊那中央病院の支援を受けて集団接種会場

（大芝荘）を設置。7月末までに完了できる。副反応は2回目にはや多いが県の相談も含めて案内している。予約は回線を増やし、年齢を区切つての発送で改善されている。全世代への接種は、基礎疾患のある人から、保育士、教師等を優先しながら順次進める。高齢者施設は7月上旬に2回目を終了する。

村長 特別措置法第24条9項に基づいて対策し、分科会の感染防止が根拠になる。村内飲食店関係者検査数は145人で全員陰性だった。県の支援金はある人から、保育士、教師等を優先しながら支援する。独自支援金20万円は対象49店舗に速やかに支給していく。情報提供は県情報ネットワーク配信している。一次感染経路不明が増えており、引き続きの注意を。

教育長 検査も含め保健所の判断だが対応が追いつかないこともあり、村独自で担当課で相談して決めている。疫学調査で濃厚接触者に検査。陽性の場合、入院、療養等保健所の指導で対応するが、家庭との連絡は密にしている。学習支援はオンラインが整っていないので、担任が個々に訪問して、健康面も含め家庭の協力も得て対応する。人を大事に感染対策を行う。

問 お金の有無で子どもの医療が差別されてはならない。村長公約の実現は。

村長 子育て支援として公約に掲げた。子どもには平等なサービスが提供されるべき。2022年8月から実施したい。

高校再編で上伊那農業高校はどうなる

村長 2次案では上伊那4校を再編し3学科の総合技術高校になる。南北に長い上伊那で十分な議論ができるか疑問に思う。歴史と伝統のある地元になくてはならない高校として意見を上げていく。

問 福祉事業所への感染拡大を防ぐ特別な支援、検査の充実を。

村長 4月から自費検査に補助をする県の支援を充実した。発生



集団接種会場（大芝荘）

問 上伊那警戒レベル5で飲食店時短の根拠は。対象店の受け止め、PCR検査の状況は。県の休業支援金は遅く条件も厳しい。村独自の支援を。不安解

問 未就学児、小学生にも感染が目立つ。学級、学年の休業はど

うするか。PCR検査の状況は。休業時の学習支援と心のケアも含めていていねいな支援を。



こども館の昼閉館、 食事禁止の見直しを



笹沼美保

現場職員と対話を重ね、変更していきたい(村長)



こども館を利用しやすく

問 こども館が昼の1時間閉館となるのはなぜか。館内は食事禁止だが、食事可能な時間と場所を設定して、昼の閉館をなくしては

った措置は適切であるとは考えていない。子どもたちの健やかな育ちを第一に、現場職員と対話を重ね、運用方法を変更していきたい。

村長 他の地方公共団体でも、児童館では飲食を禁止していること、子どもの健全育成の観点から、昼には家に帰り昼食を取ってほしいことが主な理由。子育て支援充実の象徴であるこども館において、利用できない時間や食事ができないとい

教育相談室の相談体制について

問 コロナ禍で、子育て教育支援相談室の対面相談が難しい状況もある。オンライン会議システムを使って相談できる環境を整えては。

村長 関係者会議や

支援会議など、昨年度後半からオンライン会議を数回実施した。環境を整えたが、実情は対面での相談希望が多い。今後も相談者の意向を尊重する形での実施を心がけていく。

福祉入浴券の柔軟な利用方法について

問 福祉入浴券を、家族風呂の利用料にも使えるようにしては。

村長 家族風呂の利用料の他、味工房で使えるようにしてほしいとの声もある。来年度に向けて制度内容の変更も含めて検討したい。

ヤングケアラーの実態調査と支援について

問 昨年12月から厚労省と文科省による実態調査が行われた。本村中学校の方法結果は

教育長 中学2年生

対象、無記名で行った。調査結果は統計的に処理され、調査元からのフィードバックはない。この調査を参考に「本校の実態はどうなのか」という思いを教職員で共有し、当てはまる生徒が1人いることがわかった。

問 今後の調査・支援の取り組みは。

教育長 ヤングケアラーの概念や支援対象としての認識不足があり、理解を深めていく必要がある。家庭内の状況を把握する難しさがあり、安心して相談できる環境づくりを大事にしていきたい。子育て世代包括支援センター、福祉関係部署との連携が必要であり、中学校卒業後のサポート体制づくりも大切。

保育園・小中学校と家庭との連絡手段について

問 アンケート機能付きメッセージ配信システムへの見直しを検討しては。

村長 SNS等を活用した村民との双方向型情報発信ツールは、4月から情報政策係を新設し検討を進めている。小中学校と家庭との連絡については、別のシステムを使うのが良いのか検討していく。保育園には保護者との双方向の連絡手段はない。クラス単位で緊急連絡できるシステムは必要。

教育長 現在、小中学校と家庭との連絡手段として、学習支援ソフト付随機能の連絡メールを使用しているが、連絡機能を主体としたシステムではない。活用していく中で、より良いシステムの選択、利用方法を考えていきたい。



消火活動の様子

地域防災の充実強化について



登内瑞貴



消防団員確保の協力を得られる取り組みを進める（村長）

問 H31年3月と比べて団員数が減少している。消防団員確保の新たな施策の実施状況は。

村長 R3年4月1
日時点の消防団員数は
191人で、2年前と
同程度の人数。

村商工会員に、消防団活動・団員確保への理解と協力依頼や、県消防団協力事業所優遇制度について案内している。信大農学部、南信工科短大、上農高校に、学生本人が消防団活動を継続的に行うことで、その後の就職活動等の支援となる社

会貢献功績認証制度を
紹介している。

過去の時代の消防団活動を想定している親が加入に反対するケースも多いと聞いている。そのあたりも配慮した啓発資料の作成をし、消防団が継続可能な組織となるよう村としても支援していく。

問 団員に占める役
場職員の割合が高いが
有事の際の動員は問題
ないか。

村長 団員191名
中役場職員58名、割合は約30%。災害の規模により、消防団活動は行えないという状況は

考えられる。有事の際、消防団活動を行うためには、役場職員以外の消防団員の数が増えることが望ましい。

今年度は全申請手続きについて、洗い出しを行う予定。

小規模の地方公共団体なので、人材や財源

問 危機管理の面からワクチン接種は、村長はじめ役場職員の優先接種が必要と思うが。

村長 理事者、庁内など限りがあるが、そうだったことを理由にせず、新しく作った情報政策係で責任をもつて進める。

職員については、通常の接種順位通り。急なキャンセル等があれば、急遽対応するケースもある。

問 村行政のデジタル化への考えと今後の展望は。

村長 インター
ネット・ネットワー
ク環境、双方向の情
報発信ツールの整備

情報をデジタル化し
見える化、申請手続
におけるデジタル化
が重要。デジタル化
を進めるにあたり、



デジタルトランスフォーメーション（総務省HP）



原 源 次

村長としての職責はどう果たす



村民の信頼・理解を得るよう 対話を重ねていく（村長）



「5つの場面」に気をつけよう（内閣官房HP）

問 「いつまでも幸

せに暮らせる村」と公約し新村長となって、その決意と職責はどう果たす。

村長 まずは村民の信頼・理解を得ることが何より大切で必要であると感じている。事業に一つひとつじっくり取り組み対話を重ね成果を上げていく。各課の目標設定を明

確にして、定期的に結果や妥当性を確認し、長期的な目標に向けてベクトルを合わせていくの必要。コロナ禍で成果を出すのが難しいが、汗をかいて自分の持ち味を生かし職責を果たすよう努力していく。今後も「いつまでも幸せに暮らせる村」を守っていくために、人口減少時代を迎

える中で日々努力を重ねていく。

問 公約の第一歩は何を重点に取り組むか。

村長 村民の安心・安全を守るため、新型コロナウイルス感染症対策を優先とする。公約実現のために実施スケジュールを設定し、実施時期を明確にする。とで、事前の調査や対話を重ねる機会を作る。

な、村版ネウボラの本格実施や、他の事業にも大きく影響する大芝高原の将来ビジョンの策定などは、いち早く手を付けなければならぬ。公約にあげた政策は基本的に重点的に取り組んでいく。

コロナ感染症対策

問 ワクチン接種の今現在の予約と接種状況は。

村長 65歳以上の接

種率は1回目39・6%、2回目17・2%。今後医療機関の個別接種に加えて集団接種も導入し、希望する65歳以上は7月末に完了予定。早期に64歳以下の接種につ

なげていく。

問 ワクチン接種の周知は。

村長 今後基礎疾患のある人、一般の人へ

と接種を進めていく。必要とする情報を得られるように広報誌やウェブサイト、メール配信等活用し積極的に発信に努める。

問 支援制度の周知は。

村長 村独自の飲食店への応援金20万円は、職員が回って事業の周知を行った。

商工会に加入していない事業者に対しても落ちのまないように努める。支援を必要としている事業者の絞り込みが

難しい。国や県の対応を注目している。

問 県外との往来を行う若者を対象に感染症検査費用を補助しては。

村長 若者回帰の事業を支援する取り組みについては、積極的に今年度も引き続き行っ

ていきたい。

大泉川の河床整備

問 大泉新橋から下流輪道橋間整備の状況は。

村長 大泉新橋から南田橋まで、堆積土や樹木の徐去を今年度実施する。春日街道から上流も整備できる。引き続き県に強く要望していく。

問 大泉所水力発電の設置状況は。

村長 一昨年より調査、関係機関と協議を重ね発注する予定。工期は3年、560世帯の電力を供給できる。

子ども福祉医療費 自己負担金ゼロの財源は



都志 今朝一



幼児教育費で補てんしていた財源を充てる（村長）

問 村政運営、公約 実行の施策、子ども福祉医療費自己負担金ゼロの財源の捻出は。

村長 唐木前村長が保育料の値下げを実施。

子育てに手厚い村との評判が広がった大きな要因である。3歳以上の幼児保育料無償化により、村が補てんしていた分を、子ども福祉

医療費自己負担金の財源に充てる。

問 公共施設の計画的な建設と統廃合。赤松莊耐震化、村郷土館の建設の考えは。

村長 赤松莊は、目標使用年数50年まで耐震化や改修は行わない。廃止または譲渡を行い、同じ機能を持つ施設に集約化の方針。郷土館は、使用年数を超えている。他の施設に機能移転、施設の複合、集約を進める。本場に貴重な文化財のみを展示、他はデジタル化できるか意見を聞き検討する。

問 熟年者支援、認知症見守り対策、ツール導入に対する考えは。

村長 要介護2以上の人はGPSの支援機器のレンタルが有料で可能。村独自でGPSなど見守り支援機器の導入費用5千円の補助制度がある。見守りシールなどのツールの取り組みは、導入している市町村の状況を調査し、今後研究する。

問 糸魚川・静岡構造線断層帯への村防災対策は。

村長 政府地震調査委員会の発生確率変更による対策の変化はない。大規模地震に備え、さらに災害に強い村づくりを進めていく。

問 改正災害対策基本法に対する村民への周知の方法は。

村長 施行に合わせ村ウェブサイトとメールで変更を発信。組への回覧とチラシの配布、広報7月号の特集ページ等で周知を行っている。

問 ワクチン接種の現状と今後の見通しは。

村長 現在65歳以上の接種率は39・6%。村内医療機関の協力を得ている。中病の医師や看護師の協力を得て、集団接種の体制を整え、11月末までに希望者全員に接種を終えることを目標にしている。

問 村の学校防災への取り組み状況は。

教育長 現時点での学校防災危機管理マニュアルの大きな見直しは必要ないと認識。村の地域防災計画と重

ね、災害時における危険箇所の周知・対応を進める。

問 学校のいじめ、不登校の現状は。

教育長 からかいや悪口等、子ども自身がいじめと感じたらカウンセリングするため件数は、南小435件、南小435件、南小435件、南小435件である。いじめ未然防止の取り組みでは、南小「いじめ絶対しま宣言」、南小「自他と認め合い支え合える子ども」、南中「認め合い」をキーワードとしている。お互いを「認め合う」風土をどの学校でも大事にして取り組んでいる。不登校数は、南小4人、南小2人、南中34人、児童生徒一人ひとりの事情に応じて「つながる」環境をさらに工夫していくことを大事にしたい。



昭和46年建設の村郷土館



加藤 泰久

村内産業の政策、方針は



それぞれの事業に支援していく（村長）

問 村内産業に対する政策、方針は。

村長 本村はかつて農業を基幹産業として歩んできたが第2次産業へと変わり、製造業を柱とする経済構造となってきた。その中で住環境が保たれているのは、農業関係者のおかげであり農業を守っていくことは重要。中小規模の商工業者は後継者不足が問題であり、建設業者が少なくならぬよう意識していかなければならない。このような状況の中でどのような政策を進めるかについては、私は民間の事業に関しては行政が口を挟むべきではないと考える。ただ人と人、企業と企業をつなぐ取り組み、スタートアップへの支援、企業誘致や設備投資に対する固

定資産税の減税等、施設支援に関すること、若者や熟年者の起業支援、新しい事業に対する支援については行政がしっかりとやっていくべきで強化していく。若者が地元に戻ってくる若者回帰への支援は地元企業の人材確保に非常に大切で、行政が先頭にたって取り組む問題と考える。

問 村商工会との関わりは。

村長 南箕輪ブランドの確立や、福祉事業、環境整備事業への取り組み、大芝高原まつりをはじめ各種事業への参加や協力など、さまざまな事業で村を盛り上げてもらっている。商工振興事業として講習会や研修会を企画したり、行政に対する要望や意見の具申等して

もらっている。コロナの関係で厳しい状況が続くと予想されるが、事業継続や経営向上を支援する。私の希望だが商工会の役員はもとより商工会青年部などと顔を合わせる場をつくり、課題や村の将来を考えていく機会を多く設けたい。

問 JAやまつくんファームとの連携は。

村長 農畜産物の高付加価値化や担い手不足の解消などの連携を深め、農業振興に努めていく。

問 大芝高原MTB（マウンテンバイク）場の維持管理がなされていないように思うが。

村長 村観光協会が民間業者に委託している。R元年度から始め、仮設トレイルを整備して使用している。今年

度中にコース整備の体制を整え、開放できるように準備を進める。

問 森の交流施設の利用状況は。

あったが、コロナ禍の影響で昨年度は前年比60%減の1122人で、村内65歳以上の女性が大半をしめている。

村長 増加傾向に



整備中のMTB場

高齢化社会のデジタル弱者への取り組みは



丸山 豊



ご近所感覚で教え合うしくみの構築を考えたい（村長）

問 デジタル化で取り残されない取り組みは。

村長 デジタル格差の解消は大切な課題で

ある。全国では70歳以上で6割の人がスマホなどの情報通信機器を利用していないデータ

があり、国では国民運動として家族を含め若い世代が高齢者に教えることや、相談できる場を提供することを示している。人とのつながりがしつかりしている本村では、草刈り時などにご近所感覚で若者から高齢者らに教合うしくみが構築できたらと考える。

問 ICT教育導入で子ども保護者の関心は。

教育長 タブレットの本格的な使用はまだだが、使用により授業に集中できて学級が落ち着くようだ。早く進めてほしいとの声があり、活用状況など学級

だよりでお知らせしている。持ち帰りについては今後、家庭の端末環境、故障や保護者不在時などの課題が発生するとみている。また、出席停止・長期休暇中など授業に限らず、学校・担任・仲間とつながるための配信などの要望があり、学校としては先生を中心に学習の中でオンライン授業のスキルアップを目指し、家庭につなげることを描いている。

問 収束に向かうためのコロナ対策における決意と方策は。

村長 希望者へのワクチン接種完了は11月

末がメドである。それまでは必要な層に応じて経済支援を行い、12月以降は接種完了し、経済活動が活発になる見込みである。国・県のような見ながら、村としても今のうちに担当課と何ができるかを考えていきたい。

問 広域行政の連携は。

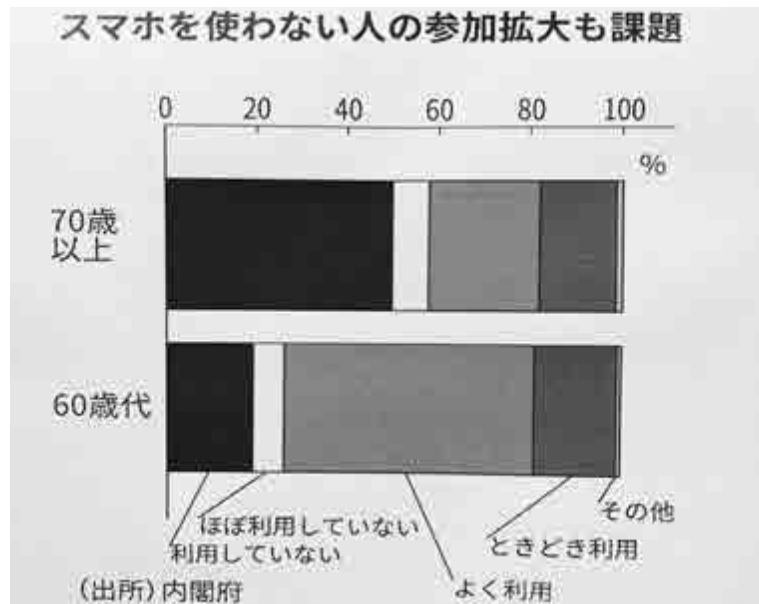
村長 現状の広域行政の連携は住民サービスの利便性向上、市町村業務の効率化ができている。今後も少子高齢化が進む中で独自に業務を行うことは効率的ではないので、広域連携は進めるべきである。都市部流出を防ぐためにも若者回帰を含む移住定住対策、雇用対策、医療体制の強化などあるが、8市町村それぞれの特徴や得意分野を生かし役割分担

をしながら進めるべきである。私案として、自治体職員の採用募集を8市町村共同実施すれば、民間事業所への波及効果も考えられ、上伊那全体の人材確保につながる。

問 移住定住対策（関係人口増加策）は。

村長 移住につながるための施策として、総務省は「関係人口」という概念を使い始めた。関係人口増加が即移住定住とならないため、この地を離れた、かつてつながりのあった若者の戻りを期待し貢献できる事業に取り組むべきである。また、スポーツ施設の充実、躍動感・活力につながる若い村としての親和性もあり、VC長野トライデントなどの連携強化をすることで関係人口増加を図る。

スマホを使わない人の参加拡大も課題



「デジタル弱者はまだ多い」2021. 5. 18 日本経済新聞電子版



山崎 文直

一般質問への答弁方針は



可能な限り村長自身が答弁する（村長）



村議会議場

問 議会一般質問は

議員にとって、村の方針を確認するうえで重要な機会である。議員は良い答弁を期待して質問に立つわけだが、他の自治体では最初から部課長が答弁する自治体もある。詳細について知ることができる点はメリットだが、新

村長としてはどのような方針で臨むのか。

村長

現状は一般質問の相手先は村長と教育長となっている。答弁も原則村長、教育長が行うべきものと考えている。しかし、多岐にわたる行政課題の細な内容や数字などについて難しい点もあり、

村長は答弁を管理職に委任できることになっている。ただし管理職の答弁はあくまでも村

長答弁を補完するものであり、村長の政治責任まで代行できるものではない。当村議会の一般質問については政策議論を深めたり、問題点を浮き彫りにする非常に重要な機会ととらえているので、私の基本姿勢としては、答

弁については可能な限り村長自身が答弁を行っていききたい。

問

地区公民館を拠点にして、村民の意見を聞く機会を設ける趣旨の発言があった。今までの懇談会は区の役員がほとんどだったが、違うものなのか。

村長

過去の地区懇談会の代わりとして行うものではない。集まって発言しにくい面



村発行の福祉入浴券

もある。今具体的に考えているのは、例えば土曜日の午後1時からいから7時くらいまで、地区公民館に私が出向き、自由に対話を重ねる場を設定したい。区長会にも意見を聞きしっかりしたしくみを作り、やってみたい。

村長

70歳以上や障がい者を対象に、1人につき年間5枚を配布している。R2年度は利用率44・5%。コロナの影響で利用はかなり減っている。利用しにくい意見があり、昨年度から家族で利用できることにした。さらに工夫して来年度以降改定していきたい。

福祉入浴券配布制度について

問

福祉入浴券の配布について、良い制度

大芝高原の 将来ビジョンの策定は



唐澤 由江



多世代の意見を集め、みんなで作りしたい（村長）

問 大芝高原の将来ビジョンの策定は。

村長 大芝高原は、人口1万5750人の癒しと、豊かなスポーツである。各世代から意見を求め、将来ビジョンを策定する。大

問 芝高原に係る部署を統括する特命担当室長で方向付けする。

村長 大芝荘経営悪化の対策は。

村長 R2年度の売上3600万円に対し、仕入れを入れた経費が

1億円で6400万円の赤字。大きな赤字を生んでいる大芝荘の宿泊は休止し、再建委員会を立ち上げ、将来に向けた取り組みを始めた。開発公社が今後再建できるように、R4年度からの事業計画を定めていく。

問 松くい虫被害状況と樹種転換の考えは。

村長 1万3千本のアカマツの内、樹幹注

入を毎年2300本に行ったがアカマツへの負担等に配慮し、昨年度から中止。年100本以上が松枯れで、倒して被害防止に取り組んでいる。今後樹種転

換を進めるには、村民に愛される50年後の大芝高原森林を想定し、大芝高原のビジョンに含めていく。

問 ふるさと納税が農業や村を守る。アスパラやスイートコーンを返礼品に加えては。

村長 ふるさと納税サイトの利用で、昨年度1万4500件、1億5200万円余。経費を引いた実収入は7200万円余。農産物はリスクを伴うが、意欲のある農家の登録から出荷までサポートすることは可能。農業担当の地域おこし協力隊が協力できる。

問 空き家の実態と有効活用は。

村長 H29年度から空き家バンク制度を実施。村で把握している

空き家108軒のうち8軒を公開し、今までに25軒が売買・賃貸で解消。

R元年度より伊那定住自立圏事業で空き家の相談会を年2回開催。片付け・売買・解体等一度に相談でき、空き家の有効活用プラットフォームとして考えている。空き家ゼロを目指すし、適正管理条例等の研究をしていく。

問 開業医の支援と訪問医療体制の強化は。

村長 開業医への支援は現在ないため、村開業医支援補助金交付要綱制定の準備は進めている。開業医との意思疎通を図った上で動かしたい。現在村内で

在宅生活の要介護・要支援認定者の内、訪問診療を受けているのは概算で約23人、7%と低い数字である。

今年度、在宅医療介護連携推進協議会を立ち上げ在宅医療を推進していく。

問 社会福祉士の配置強化とこども館の機構改革とは。

村長 社会福祉士が村民から相談を受ける体制を作り、住民福祉の向上につなげたい。

現在子どもに関する体制は子育て支援課・教育委員会・健康福祉課と分散していて、連携を取りにくい状況。

機構改革により子どもに関する相談業務等を一点に集中させ、切れ目のない子育て支援、南箕輪版ネウボラ実現に向けてステップアップさせる。



ビジョン策定が待たれる大芝高原

議会だよりモニターの声

議会だよりモニターのみなさんから誌面や議会に対するご意見などを掲載しています。
いただいたお声を参考に、改善・リニューアルなどを進めていきます。

議会だより誌面に対するご感想・ご意見

- 写真やイラストが入ることで、わかりやすく読みやすかった。一般質問では、コロナ・子育てなど知りたい情報が要約して書かれていたため、とても読みやすかったと思う。
- さすがにアンケートも回を重ねると、それなりに納得していますし、意見もなくなりますね。
- あきる野市議会だよりのデザインが親しみやすく、読みやすいと感じました。全国の他市町村を参考にしながら、より村民に読んでいただける誌面作りをお願いします。
- 『きらきら村の仲間たち』大変良い企画だと思います。役職は知っていても個人を知らない方や、個人としては知っている方でもどんな職務についているか知らないこともあるので、この記事でいろいろな方を知ることや、村の活動などに興味がわきます。

- 「定例会を振り返って」のコーナー希望。議員持ち回り・議長・村長と3人程度で載せてくださったら嬉しい。広報南みのわでは読めないコーナー。みなさん読んでくださるかも。
- 議会の各委員会等の活動報告がありましたが、意見交換を今後の重点項目と考える指針とし、議員のやる気を感じられました。村のいろいろな組織との交流を通して意見を吸い上げ、村政に生かしてもらえればと思います。
- 議会から村への提言は、だいたいにおいマその通りだと思いますが、他の道の駅等と比較してアピールする物がどれかわからない。ロード・大芝荘・温泉・アスレチック、ただいろいろあるだけ。時々行く人が少ない。ただ少ないのが良いとお考えならそれで……。研修センターは位置があそこ良かった？

その他、議会や村に対するご意見など

- 子どもが増えている長野県で1番若い村。今後たくさんの子どもたちが飯田線を利用することも予想されるので、北殿駅、田畑駅周辺の整備をしてもらえると、年配の方も含めより利用しやすくなるのではないかと。
- 福祉移送サービスは、4月から4回と初めて知った。週1回頼んでいる方の話では、約束の時間に2回とも来なくて、習い事の参加が途中からになり大変困ったと聞いた。原因は何だったのか、サービスの低下にならないよう工夫してほしい。
- 大芝高原利活用の提言、課題について、7項目に分かれているのは少し多いと感じたが、まあよい。広く村民から要望を聞いて改善してほしい。食堂や公民館講座などで、住民の声を聞く用紙を用意してほしい。選挙方式であれば、子どもから大人まで答えられる。
- 大芝高原は道の駅として出発したが、魅力が足りない。お店がオープンではなく入りにくい。各お店がバラバラの入りにくい。商品が見づらい配置。駐車場が狭い。品物が少ない。野菜など鮮度が悪い。足湯の位置が裏側なので利用しにくい。キャンプ場、宿泊施設も、村民が自慢できるように、みんなの声を広く聞いてほしい。村長の新しい考え方で改革してほしい。
- コロナワクチン接種に関する情報がなくて不安になります。周りの市町村よりも明らかに接種スピードが遅いので、なおさらです。村からの情報提供がもう少しあ

まもよいのではありませんか。国との関係があつて、はっきりしたことが言えないのも理解できますが、もう少しどうにかありませんか。

- 4月の補欠選挙で、元職・新人の2名が当選されて期待しています。特に新人議員は、新しい空気、斬新な意見を期待します。村長も新しく若い村長の誕生で、アイデアのある、村民が「えっ」と思える施策を期待したい。
- 区、組加入の取り組みについて、「各区長の意見を聞きながら」とありました。実際に加入する側、転入してきたばかりの人や若い人たちに話を聞き、意見を取り入れてはいいかがでしょうか。
- そもそも日本の教育は、政治と経済について学校で教わる機会が少ないように思います。小中学校で議会や村の経済を学ぶ機会がもっと増えれば、自分が選挙権をもった時に、もっと政治に関心をもつたのではと思います。職場体験や社会見学に、議会とかかわるチャンスをもっと増やしてほしいです。
- 唐木村長、長年の村の舵取りお疲れ様でした。東京経済オンラインの調査では、村部門の人口増日本一でした。藤城村長、どんな小さなことでもいい。次はどんな内容で日本一を目指しましょうか？
- コロナの発生状況ばかり報告するマスコミですが、発生していない県、あるいは少ない県の実態を報道した方が見習えると思うのですが。たとえば鳥取・島根・となりの山梨も少ない。そういう県で行っている対策を教わる。

編集 後記

新村長、補選で当選した2名の議員も加わり、定例会が開催された。

昨年来全世界に猛威を振るっているコロナウイルス感染症は、いまだ収束の兆しは見えません。

昨年度より「議会だよりモニター」をお願いし、議会活動をよりわかりやすくお伝えできよう、できる限り「モニターの声」を生かしていきたいと思います。

2年間よろしくお願

いします。

編集委員
委員長
副委員長
委員

原 源次
笹沼 美保
山崎 文直
唐澤 由江
三澤 澄子

きらきら村の仲間たち

今回は、4月に地域おこし協力隊に着任した、フレッシュな2人を直撃しました。



『ダンスを教育に!』

たきもり ゆう
瀧森 優 さん

東京都八王子市出身
久保在住

教育委員会で地域スポーツ推進・
子どもの未来づくりを担当
令和3年4月1日着任

趣味
ドライブ、筋トレ、映画、
料理(納豆料理が得意!)

好きな食べ物
スイーツ、お酒(おつまみ作ります!）、
スターウォーズ(オタクレベル!)

嫌いなもの
虫、熱いもの(猫舌)

南箕輪村の地域おこし協力隊に応募したきっかけは?

姉夫婦が箕輪町におり、南箕輪と箕輪の地域おこし協力隊募集を教えてくださいました。
仕事内容がより明確に書かれていた南箕輪の協力隊に応募することにしました。

現在の活動内容は?

社会教育業務をはじめ、スポーツ振興全般や
ダンス教育の普及のために活動しています。

これから目指すものは?

わくわくクラブの企画運営、社会教育関係の地
域イベントを企画したいです。ダンスを通じて、
子どもたちが輝ける村を発信していきます!

『チャンネル登録お願いします!』

ろくたに あおと
鹿谷 碧 さん

神奈川県平塚市出身
南原在住

地域づくり推進課で
空き家対策・移住定住事業を担当
令和3年4月1日着任

趣味
温泉めぐり、読書(ビジネス書・小説『伊坂幸太郎・
上橋菜穂子など』)、健康志向(朝は冷水シャワー、
朝食は食べず、昼食はプロテインバーとクルミとサラダ、
夕食は食べるがほどほどに)

好きな食べ物
パスタ(自称パスタ専門料理人で、得意は明太子パスタ!)

嫌いなもの
虫、高い所(高所恐怖症)、おばけ(暗いところは苦手)



南箕輪村の地域おこし協力隊に応募したきっかけは?

付き合っている彼女が伊那市長谷出身で、南箕輪に住んでいる彼女の友人から集落支援員募集を教え
てもらい、役場に問い合わせたところ、地域おこし協力隊を勧められたのがきっかけです。

現在の活動内容は?

村で把握している空き家は約150戸。その内の
空き家バンクに登録されている約10戸の管理や、
村外からの移住の相談を受けたりしています。

これから目指すものは?

空き家にリモートワークの環境を整えるなど、
都会からの移住を促進したり、動画など発信ツ
ールを使って、南箕輪村の魅力を一人でも多くの人
に伝え、移住につなげたいです!

鹿谷さんと瀧森さんは、You Tube『あおとゆうチャンネル』という
動画サイトで、お2人の情報収集のようすを毎週発信しています。登
録者数1,000人を目指しています!みなさんもぜひご覧ください。

